

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	(毎月分配型)	2013年3月8日～ 2033年2月18日まで
	(3ヵ月決算型)	2013年7月19日～ 2044年2月18日まで
	(年2回決算型)	2013年3月8日～ 2044年2月18日まで
運用方針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、M L P（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、M L P（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。M L P（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	(毎月分配型)	原則として毎月20日。
	(3ヵ月決算型)	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	(年2回決算型)	原則として毎年2月20日および8月20日。
上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。		

## フランクリン・テンプルトン・ アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)

### 運用報告書（全体版）

(毎月分配型)	
第139期	決算日 2024年9月20日
第140期	決算日 2024年10月21日
第141期	決算日 2024年11月20日
第142期	決算日 2024年12月20日
第143期	決算日 2025年1月20日
第144期	決算日 2025年2月20日
(3ヵ月決算型)	
第46期	決算日 2024年11月20日
第47期	決算日 2025年2月20日
(年2回決算型)	
第24期	決算日 2025年2月20日

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）/（3ヵ月決算型）/（年2回決算型）」は、2025年2月20日に決算を行いましたので、各期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(受付時間 営業日の9:00～17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

## ○最近30期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額				株式組入比率	投資信託券組入比率	MLP(※)組入比率	純資産額
	税分	込配	み金	期騰落率				
115期(2022年9月20日)	円 11,699	円 40	% △2.0	% 65.8	% 6.8	% 18.6	% 20,645	百万円
116期(2022年10月20日)	11,636	40	△0.2	64.7	5.9	18.6	20,570	
117期(2022年11月21日)	11,691	40	0.8	67.5	6.2	16.9	20,427	
118期(2022年12月20日)	10,848	40	△6.9	67.5	6.4	16.2	18,936	
119期(2023年1月20日)	10,579	40	△2.1	69.7	6.8	17.7	18,861	
120期(2023年2月20日)	11,353	40	7.7	68.9	6.7	17.5	20,671	
121期(2023年3月20日)	10,587	40	△6.4	69.3	6.3	17.3	19,363	
122期(2023年4月20日)	11,320	40	7.3	69.6	6.7	17.3	20,837	
123期(2023年5月22日)	11,302	60	0.4	68.1	7.6	17.9	20,687	
124期(2023年6月20日)	12,148	60	8.0	70.8	8.3	17.2	22,099	
125期(2023年7月20日)	12,179	60	0.7	69.7	9.6	17.6	22,037	
126期(2023年8月21日)	12,280	60	1.3	70.6	9.1	18.5	22,215	
127期(2023年9月20日)	12,655	60	3.5	71.1	8.9	19.3	22,573	
128期(2023年10月20日)	12,458	60	△1.1	74.3	8.0	15.9	22,030	
129期(2023年11月20日)	12,835	60	3.5	72.9	10.4	15.3	22,398	
130期(2023年12月20日)	12,930	60	1.2	69.9	13.9	14.5	22,164	
131期(2024年1月22日)	13,262	60	3.0	69.8	14.3	14.7	22,561	
132期(2024年2月20日)	13,709	60	3.8	70.5	13.5	14.6	23,237	
133期(2024年3月21日)	14,141	60	3.6	71.6	12.2	14.5	23,865	
134期(2024年4月22日)	14,012	60	△0.5	72.9	9.1	15.0	23,508	
135期(2024年5月20日)	14,851	120	6.8	76.0	8.7	13.9	24,873	
136期(2024年6月20日)	15,062	120	2.2	76.1	8.4	13.5	25,854	
137期(2024年7月22日)	15,318	120	2.5	74.2	11.0	13.9	26,765	
138期(2024年8月20日)	14,281	120	△6.0	71.3	13.2	13.1	25,217	
139期(2024年9月20日)	14,212	120	0.4	70.0	13.9	13.0	26,067	
140期(2024年10月21日)	15,183	120	7.7	70.7	13.4	12.4	28,477	
141期(2024年11月20日)	15,750	120	4.5	71.1	12.4	12.7	30,956	
142期(2024年12月20日)	15,467	120	△1.0	73.6	11.4	12.9	33,303	
143期(2025年1月20日)	15,748	120	2.6	73.6	10.5	13.7	35,169	
144期(2025年2月20日)	15,115	180	△2.9	72.9	9.7	13.4	35,602	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」「MLP組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) (※)エネルギー以外のMLPを含みます。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファ

ンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額	騰落率	株式組入比率	投資信託証券組入比率	M L P(※)組入比率
						%
第139期	(期首) 2024年8月20日	円 14,281	% —	% 71.3	% 13.2	% 13.1
	8月末	14,200	△0.6	71.4	13.2	12.7
	(期末) 2024年9月20日	14,332	0.4	70.0	13.9	13.0
	(期首) 2024年9月20日	14,212	—	70.0	13.9	13.0
第140期	9月末	14,202	△0.1	69.5	13.8	12.9
	(期末) 2024年10月21日	15,303	7.7	70.7	13.4	12.4
	(期首) 2024年10月21日	15,183	—	70.7	13.4	12.4
第141期	10月末	15,386	1.3	70.9	13.2	12.3
	(期末) 2024年11月20日	15,870	4.5	71.1	12.4	12.7
	(期首) 2024年11月20日	15,750	—	71.1	12.4	12.7
第142期	11月末	15,657	△0.6	70.5	12.7	13.2
	(期末) 2024年12月20日	15,587	△1.0	73.6	11.4	12.9
	(期首) 2024年12月20日	15,467	—	73.6	11.4	12.9
第143期	12月末	15,843	2.4	73.5	11.2	12.9
	(期末) 2025年1月20日	15,868	2.6	73.6	10.5	13.7
	(期首) 2025年1月20日	15,748	—	73.6	10.5	13.7
第144期	1月末	15,670	△0.5	70.2	10.1	13.6
	(期末) 2025年2月20日	15,295	△2.9	72.9	9.7	13.4
	(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。					

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」「M L P組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) (※)エネルギー以外のM L Pを含みます。

## <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

### ○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 價 額				株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 券 組 入 比 率	M L P (※) 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金				
38期(2022年11月21日)	円 9,987		円 0		% △ 1.4	% 67.5	% 6.2	% 16.8 百万円 3,998
39期(2023年2月20日)	9,807		0		△ 1.8	68.9	6.7	17.5 4,131
40期(2023年5月22日)	9,888		0		0.8	68.0	7.6	17.9 4,147
41期(2023年8月21日)	10,003		900		10.3	76.8	9.8	20.1 4,035
42期(2023年11月20日)	10,005		600		6.0	77.2	11.0	16.2 3,867
43期(2024年2月20日)	10,004		830		8.3	76.3	14.6	15.7 4,457
44期(2024年5月20日)	10,130		890		10.2	82.2	9.4	15.1 5,221
45期(2024年8月20日)	9,977		0		△ 1.5	70.9	13.2	13.1 6,120
46期(2024年11月20日)	10,192		1,080		13.0	78.2	13.7	14.0 7,146
47期(2025年2月20日)	10,041		10		△ 1.4	72.2	9.6	13.3 14,472

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」「MLP組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) (※)エネルギー以外のMLPを含みます。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの收益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

### ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 級 入 比 率	M L P (※) 組 入 比 率
		騰	落	率		
第46期	(期 首) 2024年8月20日	円 9,977	% —	70.9	13.2	13.1
	8月末	9,921	△ 0.6	71.4	13.2	12.7
	9月末	10,006	0.3	69.6	13.8	12.9
	10月末	10,928	9.5	71.1	13.2	12.4
	(期 末) 2024年11月20日	11,272	13.0	78.2	13.7	14.0
	(期 首) 2024年11月20日	10,192	—	78.2	13.7	14.0
第47期	11月末	10,132	△ 0.6	70.5	12.7	13.2
	12月末	10,332	1.4	73.6	11.2	12.9
	2025年1月末	10,298	1.0	70.3	10.1	13.6
	(期 末) 2025年2月20日	10,051	△ 1.4	72.2	9.6	13.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」「MLP組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) (※)エネルギー以外のMLPを含みます。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額				株式組入比率	投資信託券組入比率	MLP(※)組入比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配 み金	期騰 落率				
20期(2023年2月20日)	円 23,994	円 0	% △ 3.2		% 69.2	% 6.7	% 17.6	百万円 12,084
21期(2023年8月21日)	26,690	0	11.2		70.8	9.1	18.6	12,919
22期(2024年2月20日)	30,652	0	14.8		70.8	13.6	14.6	14,258
23期(2024年8月20日)	33,258	0	8.5		71.2	13.2	13.1	16,681
24期(2025年2月20日)	37,050	0	11.4		72.4	9.6	13.3	33,143

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」「MLP組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) (※)エネルギー以外のMLPを含みます。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			株式組入比率	投資信託券組入比率	MLP(※)組入比率
	騰	落	率			
(期首) 2024年8月20日	円 33,258		% —	% 71.2	% 13.2	% 13.1
8月末	33,069		△ 0.6	71.4	13.2	12.7
9月末	33,352		0.3	69.6	13.8	12.9
10月末	36,425		9.5	71.1	13.2	12.4
11月末	37,351		12.3	70.8	12.7	13.3
12月末	38,091		14.5	73.8	11.3	12.9
2025年1月末	37,964		14.1	70.5	10.1	13.7
(期末) 2025年2月20日	37,050		11.4	72.4	9.6	13.3

(注) 謄落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」「MLP組入比率」は実質比率を記載しております。

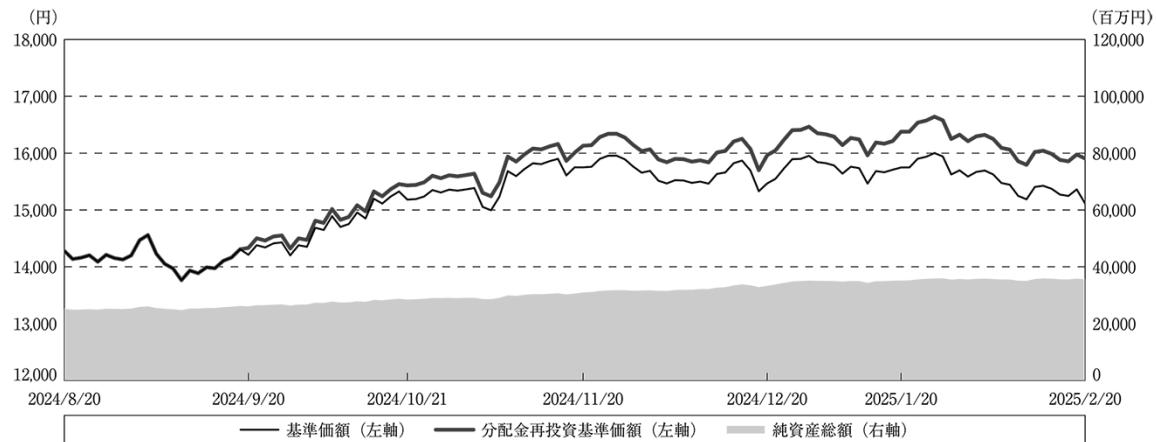
(注) (※)エネルギー以外のMLPを含みます。

## ○運用経過

### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

#### 作成期間中の基準価額等の推移

(2024年8月21日～2025年2月20日)



第139期首：14,281円

第144期末：15,115円（既払分配金(税込み)：780円）

騰落率： 11.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

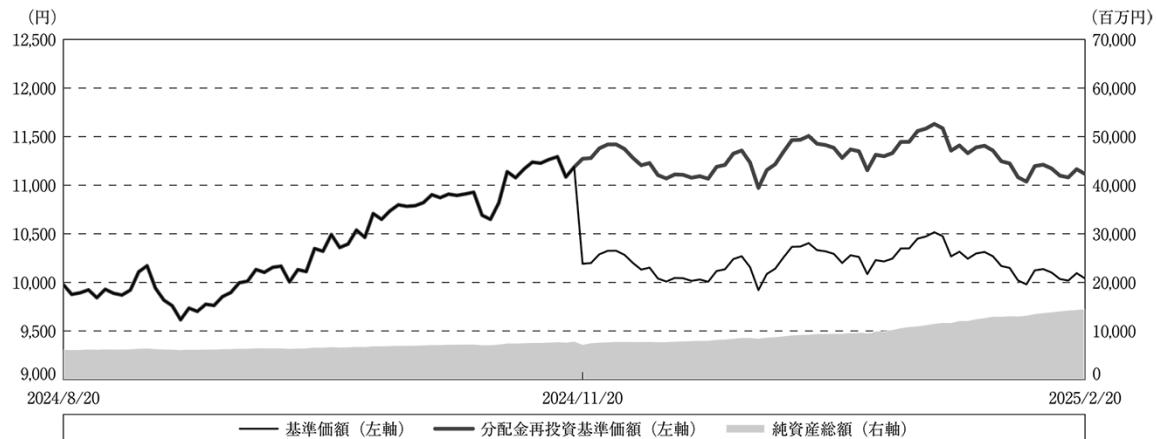
株式要因がプラスとなり、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、為替要因もプラスとなりました。

## ○運用経過

### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

#### 作成期間中の基準価額等の推移

(2024年8月21日～2025年2月20日)



第46期首：9,977円

第47期末：10,041円（既払分配金(税込み)：1,090円）  
騰落率：11.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

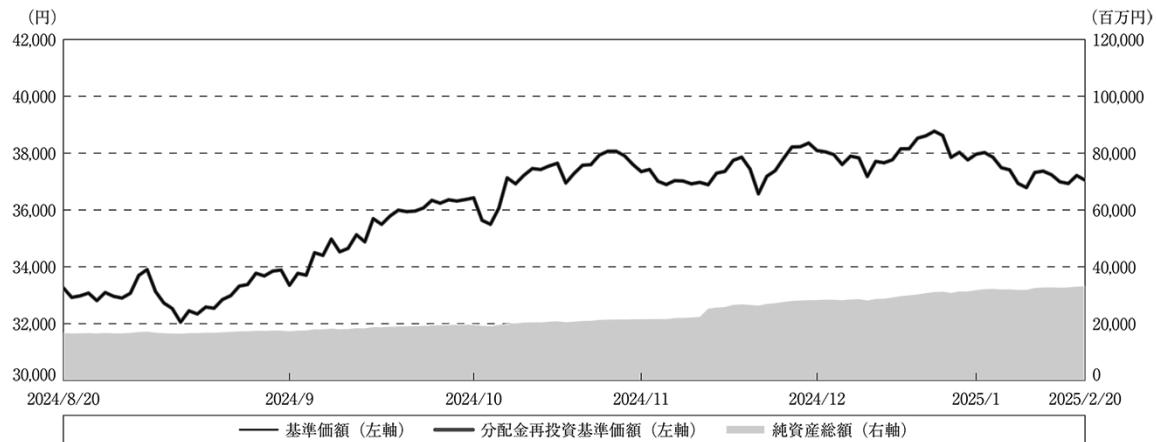
当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。株式要因がプラスとなり、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、為替要因もプラスとなりました。

## ○運用経過

### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

#### 期中の基準価額等の推移

(2024年8月21日～2025年2月20日)



期 首：33,258円

期 末：37,050円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率： 11.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

株式要因がプラスとなり、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、為替要因もプラスとなりました。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)>

## 投資環境

(2024年8月21日～2025年2月20日)

当作成期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、米国の米供給管理協会 (ISM) 製造業景況指数が低調な結果となり、米製造業の活動が当面低迷する可能性が高いことが示唆され、株式市場は下落しました。しかし、その後は2024年9月の米連邦公開市場委員会 (FOMC) で大幅な利下げが実施されたことなどから、株式市場は上昇に転じました。

期の半ばは、トランプ氏が米大統領選挙で勝利すると、市場では減税や規制緩和への期待が高まり、株式市場は上昇しました。しかし、その後は米連邦準備制度理事会 (FRB) が12月のFOMCで大方の予想通り0.25%の利下げを決定したものの、2025年の利下げペース鈍化を示唆したため、株式市場は下落しました。

期の後半は、米消費者物価指数 (CPI) のコア指数の伸びが市場予想を下回ったことなどからインフレ懸念が和らぎ、FRBの追加利下げ期待が高まったことから、株式市場は上昇しました。また、トランプ米大統領が就任式で一律関税などの具体的な政策を示さなかったことから市場に安心感が広がったことも、株式市場の上昇要因となりました。

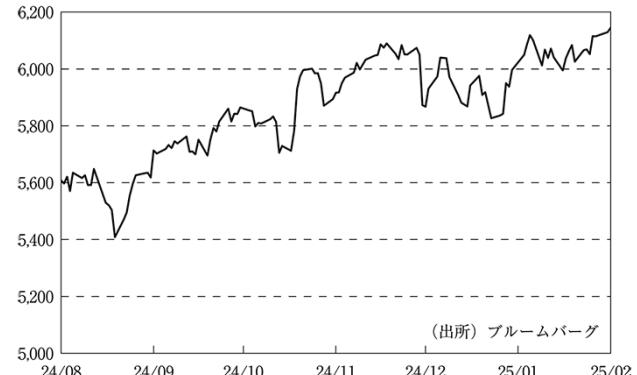
当作成期のMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ) 市場は、上昇しました。

期の前半は、米国のISM製造業景況指数が低調な結果となり、米製造業の活動が当面低迷する可能性が高いことが示唆され、米国株式市場が下落したため、MLP市場も下落しました。しかし、その後はFOMCで大幅な利下げが実施されたことなどから、MLP市場は上昇しました。

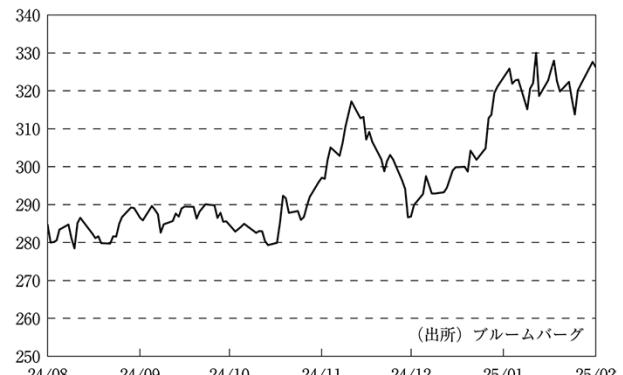
期の半ばは、トランプ氏が米大統領選挙で勝利すると、市場では減税や規制緩和への期待が高まり、投資家のリスク選好色が強まつたため、株式市場とともにMLP市場も上昇しました。また、ロシアとウクライナの紛争激化や停電によるノルウェーの大規模な油田の生産停止を背景に原油先物価格が上昇したこと、MLP市場の上昇要因となりました。しかし、その後はFRBが2025年の利下げペース鈍化を示唆したため、米国株式市場が下落し、MLP市場も下落しました。

期の後半は、原油価格が上昇したことから、MLP市場は堅調に推移しました。また、米CPIのコア

米国S&P 500指数の推移



アレリアンMLP指数の推移



指数の伸びが市場予想を下回ったことや、ウォラーFRB理事が予想よりも速いペースでFRBが利下げする可能性が高まるとの見方を示したことから、米国株式市場が上昇すると、MLP市場も一段と上昇しました。

当作成期のリート市場は、若干上昇しました。

期の前半は、パウエルFRB議長が年次経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」において、2024年9月のFOMCで利下げの可能性が高いと示唆したことから米国国債利回りが短期債を中心に低下し、リート市場は上昇しました。その後はFOMCで大幅な利下げが実施されたことなどから、米国株式市場は堅調に推移したもの、FOMC後に米国国債利回りが上昇に転じたことが重石となり、リート市場は上値の重い展開となりました。

期の半ばは、トランプ米大統領が著名投資家のスコット・ベッセント氏を財務長官に指名したことを受け、米国国債利回りが低下したため、リート市場は上昇しました。しかし、その後は米国の財政赤字が11月の実績としては過去最高となったことが示され、米国の財政状況を巡る警戒感が強まったことに加え、FOMCにおける政策金利の見通しで2025年に見込む利下げ回数の減少が示されたことから、米国国債利回りが上昇し、リート市場は下落しました。

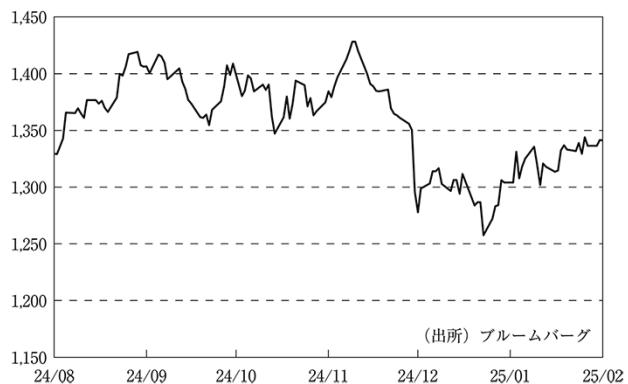
期の後半は、米CPIのコア指数の伸びが市場予想を下回ったことや、ウォラーFRB理事が予想よりも速いペースでFRBが利下げする可能性が高まるとの見方を示したことから、米国国債利回りが低下するとリート市場は上昇しました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

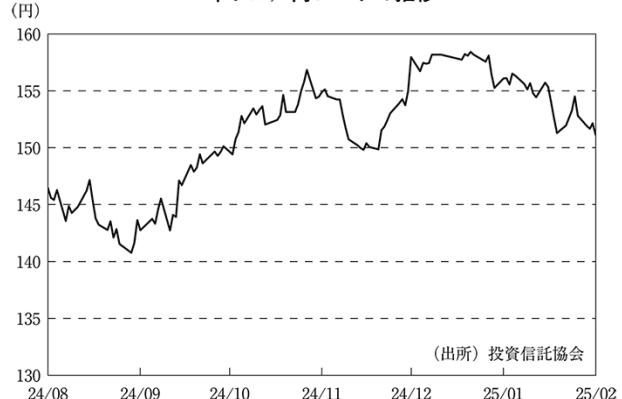
期の前半は、FOMCに向けて大幅な利下げ観測が高まる中、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。その後、FOMCで市場予想通り大幅な利下げが決定されましたが、パウエルFRB議長の発言がタカ派寄りと受け取られたため、FOMC後は米ドル買い・円売りが進みました。

期の半ばは、米国で共和党が大統領職と上下両院を握る「トリプルレッド」の達成が確実となり、トランプ次期政権下でのインフレ高進などが改めて意識されたため、米ドル高・円安が進みました。しかし、その後はトランプ米大統領が著名投資家スコット・ベッセント氏を財務長官に指名したことを受け、米国国債

MSCI US REIT指数の推移



米ドル／円レートの推移



利回りが低下したことから、米ドル安・円高が優勢となりました。また、東京都区部CPIが市場予想を上回ったことで、2024年12月に日銀が利上げに踏み切るのではないかとの思惑が強まつたことも、米ドル安・円高の要因となりました。

期の後半は、FRBがFOMCで大方の予想通り利下げを実施したものの、政策金利見通しで利下げペースの鈍化を示唆したことに加え、日銀が金融政策決定会合で政策金利を据え置き、利上げを見送る方針を決定したことから、タカ派寄りのFRBとハト派寄りの日銀の対比が意識され、米ドル高・円安が優勢となりました。しかし、その後は日銀が2025年1月の金融政策決定会合で利上げを実施したことに加え、日本の毎月労働統計調査で名目賃金の伸び率が市場予想を上回ったことなどから、日銀による今後の利上げ継続期待が高まったため、米ドル安・円高が進みました。

## <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）/（3ヵ月決算型）/（年2回決算型）>

### 当ファンドのポートフォリオ

(2024年8月21日～2025年2月20日)

当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。

## <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）/（3ヵ月決算型）/（年2回決算型）>

### 分配金

(2024年8月21日～2025年2月20日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきました。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

#### ○分配原資の内訳

### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	2024年8月21日～ 2024年9月20日	2024年9月21日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月20日	2024年11月21日～ 2024年12月20日	2024年12月21日～ 2025年1月20日	2025年1月21日～ 2025年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	120 0.837%	120 0.784%	120 0.756%	120 0.770%	120 0.756%	180 1.177%
当期の収益	31	120	120	16	120	21
当期の収益以外	88	—	—	103	—	158
翌期繰越分配対象額	7,103	7,244	7,791	7,691	7,798	7,641

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第46期	第47期
	2024年8月21日～ 2024年11月20日	2024年11月21日～ 2025年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,080 9.581%	10 0.099%
当期の収益	1,034	10
当期の収益以外	45	—
翌期繰越分配対象額	241	262

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第24期
	2024年8月21日～ 2025年2月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	27,050

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

### ○今後の運用方針

---

当ファンドは米国の株式、MLP、リートへの投資を目的としたファンドです。ポートフォリオにおいては、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行う方針です。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年8月21日～2025年2月20日)

項目	第139期～第144期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 146	% 0.965	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(71)	(0.471)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(71)	(0.471)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.014	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.012)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(MLP)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(MLP)	(0)	(0.000)	
(d) その他の費用	12	0.081	(d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(1)	(0.004)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
(その他の1)	(3)	(0.023)	MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等(△の場合は、未払費用の組戻し)
(その他の2)	(7)	(0.048)	権利処理に伴う費用(外国税額分も含む)
合計	160	1.061	
作成期間の平均基準価額は、15,159円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

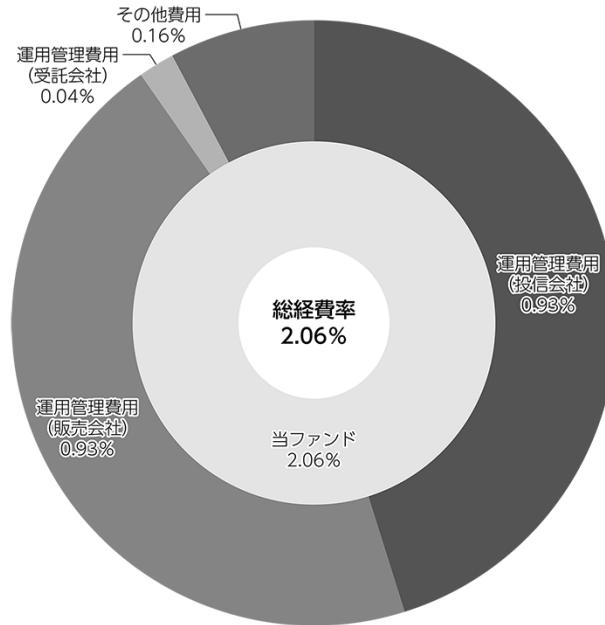
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## (参考情報)

### ○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年8月21日～2025年2月20日)

項目	第46期～第47期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 99	% 0.965	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(48)	(0.471)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(48)	(0.471)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.016	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.014)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(MLP)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(MLP)	(0)	(0.000)	
(d) その他の費用	11	0.103	(d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(1)	(0.006)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
(その他の1)	(3)	(0.028)	MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等（△の場合は、未払費用の組戻し）
(その他の2)	(6)	(0.062)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合計	112	1.085	
作成期間の平均基準価額は、10,269円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

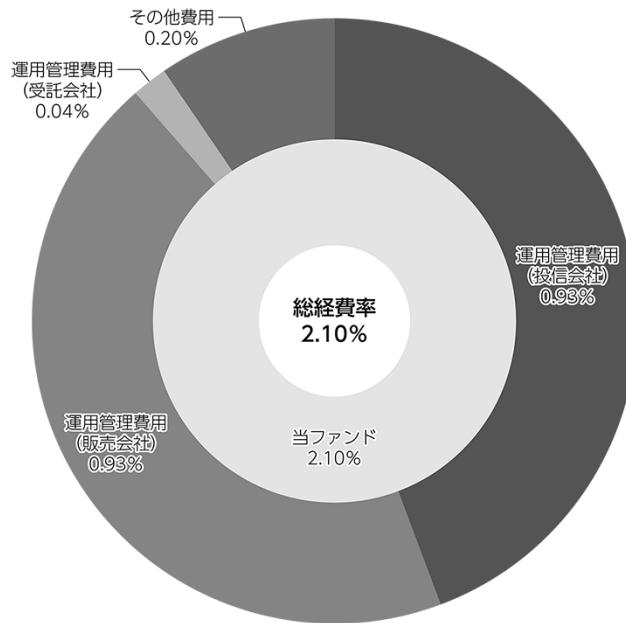
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年8月21日～2025年2月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 348	% 0.965	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(170)	(0.471)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(170)	(0.471)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 8)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.015	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	( 5)	(0.013)	
（投資証券）	( 0)	(0.001)	
（MLP）	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	( 0)	(0.001)	
（投資証券）	( 0)	(0.000)	
（MLP）	( 0)	(0.000)	
(d) その他の費用	33	0.092	(d)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 1)	(0.004)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他の1）	(10)	(0.028)	MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等(△の場合は、未払費用の組戻し)
（その他の2）	(20)	(0.055)	権利処理に伴う費用(外国税額分も含む)
合計	387	1.073	
期中の平均基準価額は、36,042円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

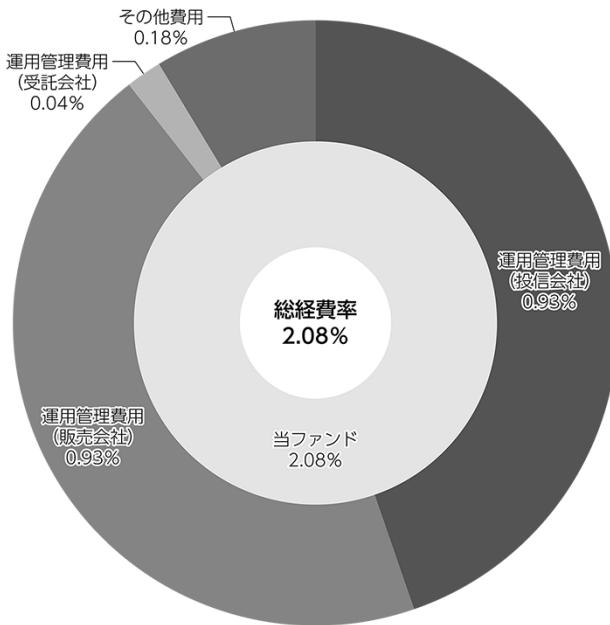
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年8月21日～2025年2月20日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

銘 柄	第139期～第144期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	千口 2,501,882	千円 11,393,255	千口 894,287	千円 4,030,099

(注) 単位未満は切捨て。

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3カ月決算型）>

銘 柄	第46期～第47期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	千口 1,923,610	千円 8,967,017	千口 278,029	千円 1,277,481

(注) 単位未満は切捨て。

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	3,554,642	16,414,129	436,893	1,956,184

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2024年8月21日～2025年2月20日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

項目	第139期～第144期 フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	92,606,909千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	124,610,172千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3カ月決算型）>

項目	第46期～第47期 フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	92,590,683千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	124,610,172千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

項目	当期 フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	92,349,465千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	124,610,172千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年8月21日～2025年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2024年8月21日～2025年2月20日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年8月21日～2025年2月20日)

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヶ月決算型）>

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2025年2月20日現在)

### 親投資信託残高

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

銘 柄	第138期末		第144期末	
	口 数	口 数	評 価 額	
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	千口 6,184,930	千口 7,792,525	千円 36,084,847	

(注) 単位未満は切捨て。

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

銘 柄	第45期末		第47期末	
	口 数	口 数	評 価 額	
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	千口 1,493,368	千口 3,138,948	千円 14,535,529	

(注) 単位未満は切捨て。

#### <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	千口 4,087,740	千口 7,205,489	千円 33,366,460	

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

## ○投資信託財産の構成

(2025年2月20日現在)

項目	第144期末	
	評価額	比率
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	千円 36,084,847	% 100.0
コール・ローン等、その他	12,626	0.0
投資信託財産総額	36,097,473	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンドにおいて、当成期末における外貨建純資産(201,973,080千円)の投資信託財産総額(206,278,690千円)に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、当成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=151.13円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末	第144期末
	2024年9月20日現在	2024年10月21日現在	2024年11月20日現在	2024年12月20日現在	2025年1月20日現在	2025年2月20日現在
(A) 資産	円 26,359,150,899	円 28,782,997,598	円 31,278,006,213	円 33,679,301,406	円 35,587,765,005	円 36,097,473,829
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	26,328,600,192	28,747,163,847	31,239,212,464	33,612,309,856	35,494,423,746	36,084,847,254
未収入金	30,550,707	35,833,751	38,793,749	66,991,550	93,341,259	12,626,575
(B) 負債	円 292,116,718	円 305,553,492	円 321,289,341	円 376,088,871	円 418,184,223	円 494,784,394
未払収益分配金	220,098,882	225,075,813	235,855,759	258,374,098	267,995,963	423,973,067
未払解約金	30,550,707	35,833,751	38,793,749	66,991,550	93,341,259	12,626,575
未払信託報酬	41,172,623	44,341,217	46,338,516	50,427,017	56,517,167	57,858,955
その他未払費用	294,506	302,711	301,317	296,206	329,834	325,797
(C) 純資産額(A-B)	円 26,067,034,181	円 28,477,444,106	円 30,956,716,872	円 33,303,212,535	円 35,169,580,782	円 35,602,689,435
元本	18,341,573,581	18,756,317,825	19,654,646,647	21,531,174,861	22,332,996,972	23,554,059,295
次期繰越損益金	7,725,460,600	9,721,126,281	11,302,070,225	11,772,037,674	12,836,583,810	12,048,630,140
(D) 受益権総口数	18,341,573,581口	18,756,317,825口	19,654,646,647口	21,531,174,861口	22,332,996,972口	23,554,059,295口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,212円	15,183円	15,750円	15,467円	15,748円	15,115円

<注記事項>

元本の状況

当成期首元本額 17,658,149,087円

当成期中追加設定元本額 7,417,922,657円

当成期中一部解約元本額 1,522,012,449円

作成期末における1口当たりの純資産額は1,5115円です。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

## ○損益の状況

項目	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	2024年8月21日～ 2024年9月20日	2024年9月21日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月20日	2024年11月21日～ 2024年12月20日	2024年12月21日～ 2025年1月20日	2025年1月21日～ 2025年2月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	156,931,460	2,065,148,704	1,354,743,958	△ 281,825,050	929,071,887	△ 986,872,633
売買益	166,580,089	2,077,650,089	1,367,779,307	3,855,663	934,935,040	4,347,819
売買損	△ 9,648,629	△ 12,501,385	△ 13,035,349	△ 285,680,713	△ 5,863,153	△ 991,220,452
(B) 信託報酬等	△ 41,467,129	△ 44,643,928	△ 46,639,833	△ 50,723,223	△ 56,847,001	△ 58,184,752
(C) 当期損益金(A+B)	115,464,331	2,020,504,776	1,308,104,125	△ 332,548,273	872,224,886	△ 1,045,057,385
(D) 前期繰越損益金	6,384,643,572	6,224,677,768	7,873,565,578	8,819,543,137	8,156,526,179	8,642,918,889
(E) 追加信託差損益金	1,445,451,579	1,701,019,550	2,356,256,281	3,543,416,908	4,075,828,708	4,874,741,703
(配当等相当額)	( 5,200,390,590)	( 5,566,467,028)	( 6,364,532,523)	( 7,956,539,708)	( 8,654,333,144)	( 9,725,375,648)
(売買損益相当額)	(△3,754,939,011)	(△3,865,447,478)	(△ 4,008,276,242)	(△ 4,413,122,800)	(△ 4,578,504,436)	(△ 4,850,633,945)
(F) 計(C+D+E)	7,945,559,482	9,946,202,094	11,537,925,984	12,030,411,772	13,104,579,773	12,472,603,207
(G) 収益分配金	△ 220,098,882	△ 225,075,813	△ 235,855,759	△ 258,374,098	△ 267,995,963	△ 423,973,067
次期繰越損益金(F+G)	7,725,460,600	9,721,126,281	11,302,070,225	11,772,037,674	12,836,583,810	12,048,630,140
追加信託差損益金	1,445,451,579	1,701,019,550	2,356,256,281	3,543,416,908	4,075,828,708	4,874,741,703
(配当等相当額)	( 5,202,884,553)	( 5,567,225,667)	( 6,368,168,429)	( 7,962,324,822)	( 8,655,314,866)	( 9,729,446,129)
(売買損益相当額)	(△3,757,432,974)	(△3,866,206,117)	(△ 4,011,912,148)	(△ 4,418,907,914)	(△ 4,579,486,158)	(△ 4,854,704,426)
分配準備積立金	7,826,570,801	8,020,106,731	8,945,813,944	8,597,514,576	8,760,755,102	8,270,407,906
繰越損益金	△1,546,561,780	-	-	△ 368,893,810	-	△ 1,096,519,469

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するための要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決算期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	58,249,061	43,317,848	80,616,346	36,345,537	48,632,806	51,462,084
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	444,251,433	1,227,487,779	0	457,930,312	0
(C) 収益調整金	5,202,884,553	5,567,225,667	6,368,168,429	7,962,324,822	8,655,314,866	9,729,446,129
(D) 分配準備積立金	7,988,420,622	7,757,613,263	7,873,565,578	8,819,543,137	8,522,187,947	8,642,918,889
分配対象収益額(A+B+C+D)	13,249,554,236	13,812,408,211	15,549,838,132	16,818,213,496	17,684,065,931	18,423,827,102
(1万口当たり収益分配対象額)	( 7,223)	( 7,364)	( 7,911)	( 7,811)	( 7,918)	( 7,821)
収益分配金	220,098,882	225,075,813	235,855,759	258,374,098	267,995,963	423,973,067
(1万口当たり収益分配金)	( 120)	( 120)	( 120)	( 120)	( 120)	( 180)

## <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

### ○分配金のお知らせ

	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
1万口当たり分配金（税込み）	120円	120円	120円	120円	120円	180円

#### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

#### ◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

### <お知らせ>

該当事項はございません。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

## ○投資信託財産の構成

(2025年2月20日現在)

項目	第47期末	
	評価額	比率
千円		%
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	14,535,529	99.9
コール・ローン等、その他	13,735	0.1
投資信託財産総額	14,549,264	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンドにおいて、当成期末における外貨建純資産(201,973,080千円)の投資信託財産総額(206,278,690千円)に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、当成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=151.13円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第46期末	第47期末
	2024年11月20日現在	2025年2月20日現在
(A) 資産	円	円
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド(評価額)	7,938,698,947	14,549,264,804
未収入金	7,935,890,749	14,535,529,629
2,808,198	13,735,175	
(B) 負債	円	円
未払収益分配金	792,561,957	76,716,586
未払解約金	757,206,856	14,413,485
未払信託報酬	2,808,198	13,735,175
その他未払費用	32,256,259	48,161,805
290,644	406,121	
(C) 純資産総額(A-B)	7,146,136,990	14,472,548,218
元本	7,011,174,594	14,413,485,840
次期繰越損益金	134,962,396	59,062,378
(D) 受益権総口数	7,011,174,594口	14,413,485,840口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,192円	10,041円

<注記事項>

元本の状況

当成期首元本額 6,134,779,350円

当成期中追加設定元本額 8,726,261,394円

当成期中一部解約元本額 447,554,904円

作成期末における1口当たりの純資産額は1,0041円です。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

## ○損益の状況

項 目	第46期	第47期
	2024年8月21日～ 2024年11月20日	2024年11月21日～ 2025年2月20日
(A) 有価証券売買損益	円 870,347,033	円 △180,716,566
売買益	880,556,186	2,283,427
売買損	△ 10,209,153	△182,999,993
(B) 信託報酬等	△ 32,546,903	△ 48,567,926
(C) 当期損益金(A+B)	837,800,130	△229,284,492
(D) 前期繰越損益金	△ 73,608,418	6,788,739
(E) 追加信託差損益金	127,977,540	295,971,616
(配当等相当額)	( 160,524,072)	( 341,345,287)
(売買損益相当額)	(△ 32,546,532)	(△ 45,373,671)
(F) 計(C+D+E)	892,169,252	73,475,863
(G) 収益分配金	△757,206,856	△ 14,413,485
次期繰越損益金(F+G)	134,962,396	59,062,378
追加信託差損益金	127,977,540	295,971,616
(配当等相当額)	( 162,357,907)	( 352,754,350)
(売買損益相当額)	(△ 34,380,367)	(△ 56,782,734)
分配準備積立金	6,984,856	25,051,757
繰越損益金	—	△261,960,995

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するためには、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

(注) 第46期計算期間末における費用控除後の配当等収益(49,195,627円)、費用控除後の有価証券等損益額(675,990,265円)、信託約款に規定する収益調整金(162,357,907円)および分配準備積立金(39,005,820円)より分配対象収益は926,549,619円(10,000口当たり1,321円)であり、うち757,206,856円(10,000口当たり1,080円)を分配金額としております。

(注) 第47期計算期間末における費用控除後の配当等収益(32,676,503円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(352,754,350円)および分配準備積立金(6,788,739円)より分配対象収益は392,219,592円(10,000口当たり272円)であり、うち14,413,485円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

## <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

### ○分配金のお知らせ

	第46期	第47期
1万口当たり分配金（税込み）	1,080円	10円

#### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

#### ◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

### <お知らせ>

該当事項はございません。

# <フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

## ○投資信託財産の構成

(2025年2月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	33,366,460	99.9
コール・ローン等、その他	17,213	0.1
投資信託財産総額	33,383,673	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(201,973,080千円)の投資信託財産総額(206,278,690千円)に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=151.13円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月20日現在)

項目	当期末
円	
(A) 資産	33,383,673,571
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド(評価額)	33,366,460,699
未収入金	17,212,872
(B) 負債	240,363,526
未払解約金	17,212,872
未払信託報酬	221,223,943
その他未払費用	1,926,711
(C) 純資産総額(A-B)	33,143,310,045
元本	8,945,491,879
次期繰越損益金	24,197,818,166
(D) 受益権総口数	8,945,491,879口
1万口当たり基準価額(C/D)	37,050円

### <注記事項>

元本の状況	
期首元本額	5,015,764,494円
期中追加設定元本額	4,427,433,104円
期中一部解約元本額	497,705,719円
期末における1口当たりの純資産額	3.7050円です。

## ○損益の状況

(2024年8月21日～2025年2月20日)

項目	当期
円	
(A) 有価証券売買損益	1,954,694,594
売買益	2,087,107,883
売買損	△ 132,413,289
(B) 信託報酬等	△ 223,150,654
(C) 当期損益金(A+B)	1,731,543,940
(D) 前期繰越損益金	5,392,644,468
(E) 追加信託差損益金	17,073,629,758
(配当等相当額)	( 14,039,386,584)
(売買損益相当額)	( 3,034,243,174)
(F) 計(C+D+E)	24,197,818,166
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	24,197,818,166
追加信託差損益金	17,073,629,758
(配当等相当額)	( 14,067,204,662)
(売買損益相当額)	( 3,006,425,096)
分配準備積立金	7,124,188,408

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するためによる費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(311,167,570円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券等損益額(1,420,376,370円)、信託約款に規定する収益調整金(17,073,629,758円)および分配準備積立金(5,392,644,468円)より分配対象収益は24,197,818,166円(10,000口当たり27,050円)ですが、当期に分配した金額はありません。

<お知らせ>

該当事項はございません。

# フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド

## 運用状況のご報告

第12期 決算日 2025年2月20日

(計算期間：2024年2月21日～2025年2月20日)

### ー 受益者のみなさまへ ー

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド」の第12期の運用状況をご報告申し上げます。

△当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 記 期 間	無期限（2013年3月8日設定）
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"><li>主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資します。</li><li>主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、主に各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオを構築します。</li><li>外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</li></ol>
主 要 運 用 対 象	米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式の投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	投資信託組入比率	MLP(※)組入比率	純総資産額
	期騰	中落率				
8期(2021年2月22日)	円 18,368	% △ 5.3	73.4	7.2	16.5	百万円 100,889
9期(2022年2月21日)	24,242	32.0	72.8	7.3	17.8	79,904
10期(2023年2月20日)	28,911	19.3	68.6	6.7	17.4	111,466
11期(2024年2月20日)	37,594	30.0	70.1	13.4	14.5	129,315
12期(2025年2月20日)	46,307	23.2	71.9	9.5	13.2	205,990

(注) (※)エネルギー以外のMLPを含みます。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	投資信託組入比率	MLP(※)組入比率
	騰	落率			
(期首) 2024年2月20日	円 37,594	% —	70.1	13.4	% 14.5
2月末	37,999	1.1	70.7	13.6	14.1
3月末	39,693	5.6	71.9	11.7	14.4
4月末	40,301	7.2	74.9	8.5	14.7
5月末	40,931	8.9	75.6	8.6	13.8
6月末	43,459	15.6	75.7	8.5	13.9
7月末	42,222	12.3	74.0	11.0	13.6
8月末	40,966	9.0	71.3	13.2	12.7
9月末	41,384	10.1	69.5	13.8	12.9
10月末	45,261	20.4	70.9	13.2	12.3
11月末	46,477	23.6	70.5	12.7	13.2
12月末	47,471	26.3	73.4	11.2	12.9
2025年1月末	47,392	26.1	70.1	10.1	13.6
(期末) 2025年2月20日	46,307	23.2	71.9	9.5	13.2

(注) 謄落率は期首比です。

(注) (※)エネルギー以外のMLPを含みます。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2024年2月21日～2025年2月20日)



### ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

株式要因がプラスとなり、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、為替要因もプラスとなりました。

## 投資環境

当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、堅調な米国経済指標を受けて米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待が後退し、株価は下落しました。しかし、その後は米国雇用統計で雇用者数の増勢が市場予想よりも鈍化したほか、米消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化したことでFRBの利下げ期待が高まり、株価は上昇しました。

期の半ばは、バイデン米政権が中国に対して厳しい貿易制限を検討しているとの報道を受け、米中貿易摩擦の激化懸念が強まつたほか、一部の大型ハイテク企業の決算が冴えなかつたため、株価は下落しました。しかし、その後は軟調な米国経済指標などを背景に2024年9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で大幅な利下げが実施されるとの期待が高まつたことなどから、株式市場は上昇に転じました。

期の後半は、トランプ氏が米大統領選挙で勝利すると、市場では減税や規制緩和への期待が高まり、株式市場は上昇しました。しかし、その後はFRBが12月のFOMCで大方の予想通り0.25%の利下げを決定したものの、2025年の利下げペース鈍化を示唆したため、株式市場は上値の重い展開となりました。

当期のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場は、上昇しました。

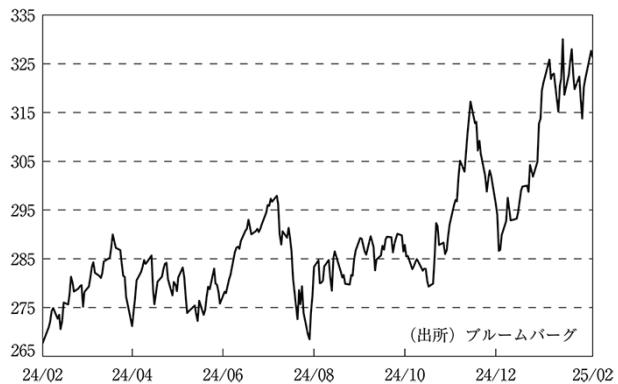
期の前半は、米国国債利回りが低下したことや、中東諸国からの供給減と中国の需要増加見通しなどを材料に原油先物価格が上昇したことが、MLP市場の上昇要因となりました。一方、その後FRBの利下げ観測が後退したことなどが、MLP市場の上値を抑える要因となりました。

期の半ばは、中東情勢を巡る供給リスクへの警戒感等から原油先物価格が高値圏で推移し、米国株式市場も高水準を維持する中、MLP市場は上昇しました。しかし、その後は米国株式市場が冴えない動きとなったことに加え、イスラエルとイスラム組織ハマスの停戦に向けた交渉が進み、中東を巡る緊張が緩和するとの見方を一因に原油先物価格が下落したことから、MLP市場は下落しました。

米国S&P 500指数の推移



アレリアンMLP指数の推移



期の後半は、特朗普氏が米大統領選挙で勝利すると、市場では減税や規制緩和への期待が高まり、投資家のリスク選好色が強まったため、株式市場とともにMLP市場も上昇しました。その後はFRBが2025年の利下げペース鈍化を示唆したため、MLP市場は一時下落したものの、原油先物価格が上昇したことや再度FRBの利下げ期待が高まったことから、MLP市場は上昇しました。

当期のリート市場は、上昇しました。

期の前半は、FRBの利下げ開始時期が後ずれする可能性があるとの見方が市場で広まり、リート市場は下落しました。しかし、その後は米国雇用統計やCPIの結果を受けてFRBの利下げ期待が高まり、米国国債利回りが低下したことから、リート市場は底堅い動きとなりました。

期の半ばは、軟調な米国経済指標やパウエルFRB議長の発言を背景にFRBの利下げ開始への期待が高まったため、リート市場は上昇しました。

期の後半は、米国の財政赤字が2024年11月の実績としては過去最高となったことが示され、米国の財政状況を巡る警戒感が強まつたことに加え、FOMCにおける政策金利の見通しで2025年に見込む利下げ回数の減少が示されたことから、米国国債利回りが上昇し、リート市場は下落しました。しかし、その後は米CPIのコア指数の伸びが市場予想を下回ったことや、ウォーラーFRB理事が予想よりも速いペースでFRBが利下げする可能性が高まるとの見方を示したことから、米国国債利回りが低下するとリート市場は上昇しました。

当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、日銀がマイナス金利の解除などを発表したものの、市場では既に織り込み済みとの見方が強かったため、実際に金融政策決定会合で修正案が発表された後は、米ドル高・円安が進みました。また、その後も日銀が金融政策の正常化を慎重に進めようとしているのではないかとの見方が市場で強まつたことなどから、米ドル高・円安が継続しました。

期の半ばは、日本の政府・日銀による米ドル売り・円買いの為替介入とみられる動きから米ドル安・円高が進行しました。その後も、日銀の追加利上げ観測およびFRBによる2024年9月の利下げ開始観測が米ドル売り・円買いの要因となりました。

MSCI US REIT指数の推移



米ドル／円レートの推移



期の後半は、米国で共和党が大統領職と上下両院を握る「トリプルレッド」の達成が確実となり、トランプ次期政権下でのインフレ高進などが改めて意識されたため、米ドル高・円安が進みました。また、FRBが利下げペースの鈍化を示唆したことでも米ドル高・円安の要因となりましたが、日銀による利上げ継続観測が強まると、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは米国の株式、MLP、リートへの投資を目的としたファンドです。ポートフォリオにおいては、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年2月21日～2025年2月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	円 13 (11) ( 2 ) ( 0 )	% 0.031 (0.025) (0.005) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	0 ( 0 ) ( 0 ) ( 0 )	0.001 (0.001) (0.000) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用	61 ( 4 ) (19) (38)	0.143 (0.008) (0.046) (0.089)	(c) その他の費用＝期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等(△の場合には、未払費用の組戻し) 権利処理に伴う費用(外国税額分も含む)
合計	74	0.175	
期中の平均基準価額は、42,796円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2024年2月21日～2025年2月20日)

### 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 67,481 ( 2,899 )	千米ドル 577,734 ( - )	百株 42,326 ( - )	千米ドル 342,921 ( - )

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は、分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	978	12,068	222	2,199
AMERICAN HOMES 4 RENT-A	1,929	7,177	130	473
AMERICAN TOWER CORP	216	4,995	95	1,846
APARTMENT INCOME REIT CO	—	—	1,945	7,465
BXP INC	—	—	841	5,322
DIGITAL REALTY TRUST INC	63	951	500	7,183
EQUINIX INC	89	7,447	54	4,450
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	1,098	7,851	299	2,048
EQUITY RESIDENTIAL	1,398	9,802	—	—
EXTRA SPACE STORAGE INC	—	—	935	12,745
GAMING AND LEISURE PROPERTIE	1,480	7,361	942	4,500
LINEAGE INC	2,352	18,584	—	—
PROLOGIS INC	82	1,040	634	6,762
MILLROSE PROPERTIES	—	—	481	1,140
( )内は、株式交換、リインベストメントオプションによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。	( 481)	( —)	7,078	56,138
小計	9,690	77,280	—	—
	( 481)	( —)	—	—

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は、株式交換、リインベストメントオプションによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## MLP

外 国	アメリカ	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外 国	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
		10,693	25,812	1,318	5,720
		( —)	( —)	( —)	(1,645)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は、分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2024年2月21日～2025年2月20日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	139,120,383千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	113,613,402千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年2月21日～2025年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

# ○組入資産の明細

(2025年2月20日現在)

## 外国株式

銘 柄	期首(前期末) 株 数	当 期 末			業 種 等	
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	614	—	—	—	ヘルスケア	
ABBVIE INC	787	984	19,423	2,935,456	ヘルスケア	
ALPHABET INC-CL A	—	649	12,038	1,819,374	コミュニケーション・サービス	
AMGEN INC	295	240	7,072	1,068,909	ヘルスケア	
AMPHENOL CORP-CL A	429	—	—	—	情報技術	
APOLLO GLOBAL MANAGEMENT	3,869	4,089	34,573	5,225,044	金融	
APPLE INC	1,683	1,313	32,167	4,861,451	情報技術	
ARES MANAGEMENT CORP	—	3,946	22,939	3,466,880	金融	
ARES CAPITAL CORP	5,546	9,301	21,831	3,299,332	金融	
BANK OF AMERICA CORP	—	4,249	19,549	2,954,538	金融	
BLACKSTONE INC	2,778	1,778	29,674	4,484,672	金融	
BLUE OWL CAPITAL INC	10,623	13,135	31,511	4,762,389	金融	
BOEING CO/THE	—	3,453	21,844	3,301,382	資本財・サービス	
BROADCOM INC	212	2,117	48,430	7,319,317	情報技術	
CME GROUP INC	187	—	—	—	金融	
CHENIERE ENERGY INC	—	934	20,436	3,088,621	エネルギー	
CITIGROUP INC	—	2,529	21,228	3,208,252	金融	
COCA-COLA COMPANY	2,687	1,920	13,460	2,034,256	生活必需品	
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,122	1,399	12,232	1,848,738	生活必需品	
DTE ENERGY COMPANY	1,166	—	—	—	公益事業	
EMERSON ELECTRIC CO	784	1,636	20,367	3,078,113	資本財・サービス	
META PLATFORMS INC-A	136	238	16,782	2,536,278	コミュニケーション・サービス	
HP ENTERPRISE CO	—	3,566	22,212	3,356,992	情報技術	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	—	829	17,476	2,641,170	資本財・サービス	
HUNTSMAN CORP	1,609	—	—	—	素材	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	800	638	10,666	1,612,039	金融	
INTUIT INC	—	111	6,519	985,271	情報技術	
JPMORGAN CHASE & CO	1,179	1,268	35,413	5,352,022	金融	
JOHNSON & JOHNSON	786	1,345	21,242	3,210,382	ヘルスケア	
KINDER MORGAN INC	6,889	8,351	22,455	3,393,750	エネルギー	
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	391	445	8,673	1,310,753	資本財・サービス	
LENNAR CORP-A	—	962	11,634	1,758,311	一般消費財・サービス	
ELI LILLY AND COMPANY	100	110	9,595	1,450,189	ヘルスケア	
LOCKHEED MARTIN CORP	240	289	12,540	1,895,230	資本財・サービス	
MARVELL TECHNOLOGY INC	1,242	—	—	—	情報技術	
MCCORMICK & CO-NON VTG SHRS	949	1,645	12,939	1,955,557	生活必需品	
MCKESSON CORP	—	257	15,490	2,341,066	ヘルスケア	
MERCK & CO. INC.	1,565	1,551	13,282	2,007,366	ヘルスケア	
METLIFE INC	—	1,933	16,057	2,426,759	金融	
MICROSOFT CORP	848	841	34,907	5,275,626	情報技術	
NEXTERA ENERGY INC	4,149	4,608	18,624	2,814,681	公益事業	
NORTHROP GRUMMAN CORP	—	187	8,108	1,225,445	資本財・サービス	
ONEOK INC	3,472	3,568	35,397	5,349,689	エネルギー	
ORACLE CORP	1,645	1,454	26,407	3,990,997	情報技術	
OTIS WORLDWIDE CORP	1,479	1,411	13,870	2,096,192	資本財・サービス	
PPL CORP	4,601	6,247	21,484	3,246,905	公益事業	
PAYCHEX INC	346	—	—	—	資本財・サービス	
PFIZER INC	1,523	—	—	—	ヘルスケア	

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等
		株数	株数	評価額	外貨建金額	
					邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	215	—	—	—	—	エネルギー
PROCTER & GAMBLE CO/THE	903	936	15, 598	2, 357, 443	—	生活必需品
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GP	—	673	5, 777	873, 207	—	公益事業
QUALCOMM INC	887	1, 392	24, 404	3, 688, 326	—	情報技術
SALESFORCE INC	—	674	21, 891	3, 308, 461	—	情報技術
SCHWAB (CHARLES) CORP	—	2, 046	16, 783	2, 536, 553	—	金融
SEMPRA	1, 838	—	—	—	—	公益事業
T-MOBILE US INC	647	830	21, 858	3, 303, 486	—	コミュニケーション・サービス
TARGET CORP	452	—	—	—	—	生活必需品
TRINITY CAPITAL INC	649	—	—	—	—	金融
US BANCORP	1, 072	—	—	—	—	金融
UNION PACIFIC CORP	682	916	22, 642	3, 421, 931	—	資本財・サービス
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	396	—	—	—	—	資本財・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	—	99	5, 059	764, 611	—	ヘルスケア
PARAMOUNT GLOBAL A(PFD)	1, 529	—	—	—	—	コミュニケーション・サービス
WILLIAMS COS INC	6, 826	7, 788	45, 382	6, 858, 628	—	エネルギー
合計	82, 845	110, 900	979, 964	148, 102, 063	—	
	銘柄数	47	49	—	<71.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当期末				比 率
		口 数	口 数	評価額	外貨建金額	
					邦貨換算金額	
(アメリカ)		百口	百口	千米ドル	千円	%
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	—	756	7, 214	1, 090, 282	—	0.5
AMERICAN HOMES 4 RENT- A	2, 882	4, 681	16, 531	2, 498, 358	—	1.2
AMERICAN TOWER CORP	703	824	15, 541	2, 348, 842	—	1.1
APARTMENT INCOME REIT CO	1, 945	—	—	—	—	—
BXP INC	841	—	—	—	—	—
DIGITAL REALTY TRUST INC	959	522	8, 859	1, 338, 973	—	0.7
EQUINIX INC	157	192	18, 102	2, 735, 852	—	1.3
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	2, 070	2, 870	18, 719	2, 829, 069	—	1.4
EQUITY RESIDENTIAL	—	1, 398	9, 948	1, 503, 449	—	0.7
EXTRA SPACE STORAGE INC	935	—	—	—	—	—
GAMING AND LEISURE PROPERTIE	2, 148	2, 687	13, 166	1, 989, 853	—	1.0
GLOBAL MEDICAL REIT INC	2, 458	2, 458	2, 062	311, 669	—	0.2
LINEAGE INC	—	2, 352	12, 858	1, 943, 295	—	0.9
PROLOGIS INC	1, 127	576	7, 006	1, 058, 910	—	0.5
合計	口 数 : 金額	16, 228	19, 321	130, 010	19, 648, 557	
	銘柄数	11	11	—	<9.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

銘柄	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額		千円
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)					
CROSSAMERICA PARTNERS LP	百口 2,662	百口 2,662	千米ドル 6,100	922,009	
ENERGY TRANSFER LP	28,454	30,961	62,294	9,414,610	
ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	11,951	13,752	46,277	6,993,898	
MPLX LP	3,393	4,488	24,118	3,645,018	
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A	10,700	15,412	33,491	5,061,543	
SUNOCO LP	2,133	1,393	8,123	1,227,646	
合計	59,297	68,671	180,405	27,264,725	
銘柄数 <比率>	6	6	—	<13.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対するMLP評価額の比率。

(注) エネルギー以外のMLPを含みます。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2025年2月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 148,102,063	% 71.8
投資証券	19,648,557	9.5
MLP	27,264,725	13.2
コール・ローン等、その他	11,263,343	5.5
投資信託財産総額	206,278,690	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産（201,973,080千円）の投資信託財産総額（206,278,690千円）に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=151.13円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2024年2月21日～2025年2月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	
コール・ローン等	207,283,072,905
株式(評価額)	10,908,394,948
投資証券(評価額)	148,102,063,368
M L P(評価額)	19,648,557,910
未収入金	27,264,725,421
未収配当金	1,006,408,584
未利回り	170,564,710
前払金	49,804
未収入金	182,308,160
(B) 負債	1,292,682,113
未払金	1,004,382,745
未払解約金	43,574,622
その他未払費用	244,724,746
(C) 純資産総額(A-B)	205,990,390,792
元本	44,483,657,674
次期繰越損益金	161,506,733,118
(D) 受益権総口数	44,483,657,674口
1万口当たり基準価額(C/D)	46,307円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	34,397,466,836円
期中追加設定元本額	15,734,767,070円
期中一部解約元本額	5,648,576,232円
期末における1口当たりの純資産額は4,6307円です。	

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)(連結機関投資家専用)	26,346,694,022円
フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)	7,792,525,375円
フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	7,205,489,602円
フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド(3ヶ月決算型)	3,138,948,675円

○損益の状況

(2024年2月21日～2025年2月20日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	4,722,763,426
受取配当金	4,603,500,331
受取利息	119,316,717
その他収益金	20,237
支払利息	△ 73,859
(B) 有価証券売買損益	26,760,016,087
売買益	32,837,742,157
売買損	△ 6,077,726,070
(C) 保管費用等	△ 223,846,577
(D) 当期損益金(A+B+C)	31,258,932,936
(E) 前期繰越損益金	94,917,621,036
(F) 追加信託差損益金	53,790,740,020
(G) 解約差損益金	△ 18,460,560,874
(H) 計(D+E+F+G)	161,506,733,118
次期繰越損益金(H)	161,506,733,118

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。